

横浜市はどんな取組をしているのかな？

地球温暖化対策につながる エネルギーの取組をすすめています

燃料電池自動車を広めたり、風の力で電気をつくらせているよ。



みなとみらいからみることもできるよ！

横浜風力発電所「ハマウイング」

水素で走る 排気ガスを出さない車です

生物多様性を守る 取組をすすめています

図書館や動物園でイベントを開いたり、自然のことを教えてくれる先生を紹介したりしているよ。



イベント情報はツイッターをチェック！
@yokohama_kankyo

緑を守り、育てています

まちの緑は、たくさんの役割をもっているよ！

おもな緑の役割

- 美しい景色
- 生き物のすみか
- 食べ物をつくる
- 木かげをつくる
- いざという時の避難場所

大切な緑を守るために「横浜みどりアップ計画」で森や農地を守ったり、まちの緑をつくらせているよ。



まちの緑はこんなにあるよ！ さかしてみてね！

横浜生まれの農畜産物を広めています

横浜は、実は農業がさかんなまちなんだ。農家が開いている直売所などで買い物しよう！「横浜農場」育ちの野菜や果物を食べるといいことがいっぱいだよ！

やさしい

近くの田んぼや畑から運ぶので、燃料をあまり使わず環境にやさしいよ。

おいしい

農家の人からおいしい食べ方を教えてもらえるよ。なかよくなって、いろいろ教えてもらおう。

あんしん

作っている農家の人があり、安心。どのように育てているか聞いてみよう。

「はま菜ちゃん」が目じるしです
横浜でつくられた野菜や果物には、「はま菜ちゃん」マークがついています。

「食品ロス」をへらす 取組をすすめています

「食品ロス」っていうのは、本当は食べられるのに、すてられている食べ物のことだよ。

「食品ロス」をへらすため、「食べ物をのこさないようにしよう」、「買い物に行く前におうちの人と冷蔵庫の中を確認しよう」などとよびかけているよ。



24時間365日 空や川・海の状況を調べています

PM2.5などの空気がよごれる原因の物質や、川や海の水質を検査しています。検査した結果は、携帯電話やパソコンで見ることができよ。

夏に光化学スモッグ注意報が出た時には、横浜市から携帯電話にメールでお知らせを送っているから、登録して使ってみてね。

登録はこちらから
entry-yokohama@bousai-mail.jp

空メールを送り、横浜市防災情報Eメールに登録することでメールを受け取ることができます。

横浜の環境 こども版

このリーフレットは、みんなに知ってもらいたい環境のことをわかりやすくまとめたものだよ。

いっしょに横浜の環境について考えてみよう！

環境問題ってなんだろう？

昔と今でかわったのかな？

横浜市はどんな取組をしているのかな？

このリーフレットは環境保全基金にいただいた寄附を活用して作成しています。環境保全基金は、横浜市への「ふるさと納税」のひとつです。環境を守る活動やこどもたちの環境学習の取組と一緒に応援しませんか？



環境を守る！こどもたちの取組 1 こども「エコ活。」大作戦！

夏休みに市立小学校のみんなが、省エネ、3R、生物多様性をテーマにした「エコライフチェックシート」を使って環境行動に取り組んでいるよ。この取組を市内のたくさんの会社が応援し、寄附をしてくれているんだ。

あつまった寄附金は日本や海外の環境を守る活動に役立てているよ。

2016年の取組結果	取り組んだ小学生 ▶ 38,383人
	取り組んだ小学校 ▶ 226校
	応援してくれた会社 ▶ 62社・団体
寄附金の使いみち	あつまった寄附金 ▶ 126万円

フィリピン ミンダナオ島の環境保全活動と宮城県 の海岸林再生プロジェクトに使われています。



環境問題ってなんだろう？

いま、地球上ではさまざまな環境問題がおこっているんだ。どんな環境問題があるのかな？

土地球が"どんどん"あったまる！

地球温暖化

石油や石炭を燃やして電気をつくったり、ガソリンなどの燃料を使って車や飛行機を動かしたりすることで、二酸化炭素などの“温室効果ガス”がふえて、地球全体の平均気温が上がっていくことだよ。

生き物の種類がへっている！

生物多様性の危機

食べ物や服、水や空気など、わたしたちの生活は“生物多様性”のめぐみにささえられているんだよ。

でも、人間が暮らしに必要なものを作るために生き物のすみかをこわしたり、外来種や毒性をもつ化学物質を持ちこんだりしたことによって、生物多様性が失われつつあるんだ。

生物多様性って？

- たくさんの生き物すべてがつながりあい、ささえあってくらししていること



どうしてごみをへらすの？

ごみ問題

紙やプラスチック製品など、わたしたちの身のまわりにあるものは、自然からの資源で作られているんだよ。資源には限りがあるから大切に使うべきだよ。

わたしたちにできることは、ものを長く大切に使うことや、今までごみとしてすててしまっていたものをリサイクルすることだよ。

空気がよごれちゃら！

大気汚染

工場や車からのけむりにふくまれる“汚染物質”で空気がよごれてしまうことだよ。昔にくらべて空はきれいになったけど、これからも対策が必要だよ。

こうしてみると、環境問題はわたしたち人間のくらしとつながっていることがわかるね

2 環境を守る！こどもたちの取組

どんなことができるか考えてみよう！

二酸化炭素をださないように、電気のムダづかいに気をつけよう！

- 部屋やろうかの電気はこまめに消す
- テレビは見るときだけつける
- 暑さや寒さはエアコンにたよらず、服などで調節する
- 冷蔵庫にものをつめこまず、あけっぱなしにしない
- 使っていない家電製品は、コンセントをぬいたり、電源を切る

自然や生き物とふれあおう！

- 公園や森など自然の中で遊んで生き物を見つける
- 動物園に行って生き物を観察する

飼っているカメや昆虫などは、にがさないで、さいごまで面倒みよう！

「3R」でなるべくごみをださないようにしよう！

- ごみと資源物を分別する
- カンやペットボトル飲料を買わずにマイボトルを持ち歩く
- 遊ばないおもちゃやゲームソフトは、ほしい人にゆずる
- マイバッグを使い、お店で箱・ふくろなどをもらわない

3Rって？ 「3R」とは、ごみ減量のキーワードである3つのRを指す言葉だよ。「もったいない」という気持ちを大切に、できることからやっつけていこう!!

Rその①
リデュース
(Reduce)
ごみそのものをへらす

Rその②
リユース
(Reuse)
何回もくり返し使う

Rその③
リサイクル
(Recycle)
資源物を新製品に作りかえる

昔と今でかわったのかな？

1950年代の横浜は、人口が急激にふえました。人々が生活するために、田畑や山林は切りくずされ、家やビルがたちならびました。海もうめたてられ、海ぞいに工場がたてられました。

昔
1950~60年代の横浜



京浜工業地帯 (神奈川県環境科学センターウェブサイトより)

大岡川下流

空も川もよごれてる...

横浜が発展するにつれて、家や工場で使われた水がたくさん川や海に流れこみました。川や海はだんだんとよごれ、魚つりや水遊びができなくなりました。また、工場からのけむりにふくまれる“汚染物質”で空気がよごれ、人の健康や生活環境に係る被害がおこりました。これが「公害」です。

今
2000年代の横浜



みなとみらい21地区

平戸永谷川

公害を乗り越えるために、横浜市では、市民、工場、市役所が力をあわせて対策をおこない、何年もかけてきれいな空や川、海を取りもどしてきました。これから先も、いまの環境を守り、もっとよくなるためには、一人ひとりができるところに取り組むことがとても大切です。

まめ知識

- よごれた川や海がきれいになってきたのは“下水道”が広まったおかげだよ。
- 昔はトイレの水やよごれた水をそのまま川や海に流していたけど、今は下水道で水再生センターに集めて、きれいにしてから川や海に流しているんだ。



水環境事業キャラクター かばのだいちゃん

3 環境を守る！こどもたちの取組

こども「いきいき」生き物調査

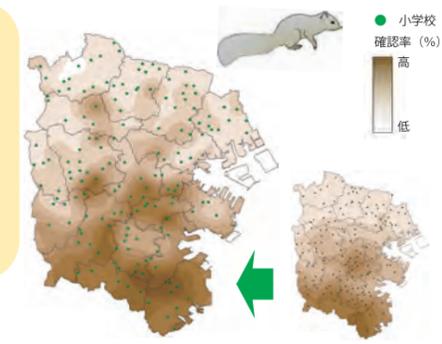
こども「いきいき」生き物調査は、市内の小学生が参加する生き物の調査だよ。夏休みに、家や学校の近くで見つけた生き物を小学生のみんなが教えてくれているんだ。みんなのすんでいるところではどんな生き物が見られるかな？



2016年の調査結果

リスは市の南がわでよく見られているよ。いま横浜にいるリスは、もともと横浜にいなかった外来種なんだ。3年前の調査とくらべると、見られる場所が北がわへ広がっているのがわかるね。

162校、10,984人の小学生のみんながおしえてくれたよ



2016年 2013年

注) 色の濃淡は、小学校ごとの確認率もとに統計的に計算、作図したものです。一部のふ頭などは解析対象外としました。